

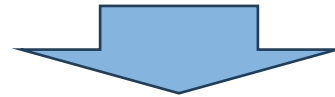
1. 蒲田駅西口周辺の現状と課題

<現状>

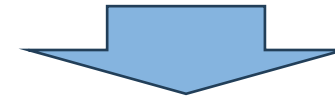
- 戦災復興区画整理以降、建物の機能更新が進んでいない
- 細街路や木造建物による防災面での不安
- 蒲田駅西口駅周辺で様々な民間開発の機運あり

<課題>

- 人々が溜まり、賑わいを生むオープンスペースの不足
- まちなかの移動利便性や回遊性の不足
- 民間開発等による商店の連続性の分断



まちづくりの方向性がないまま、個別に開発が進むと「蒲田らしさの消失」が懸念される



『連続性のある蒲田らしいまちなみ』を地域の皆様とともに実現するため
蒲田駅西口周辺において、地区計画の検討を提案

2 地区計画とは

地区計画とは、地区の課題や特徴を踏まえ、地域と自治体が連携しながら地区の**目指すべき将来像**を設定し、その実現に向けて「まちづくり」を進めていく手法

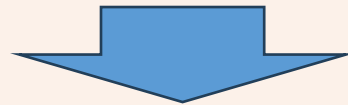
■ 地区計画で何を決めるのか

✓ 地区の「目標」・「方針」

⇒ 地区内の人々と、まちの将来像について認識を共有

✓ 地区の範囲設定

⇒ どのような範囲で、地域のルールを定めるか



「地区整備計画」

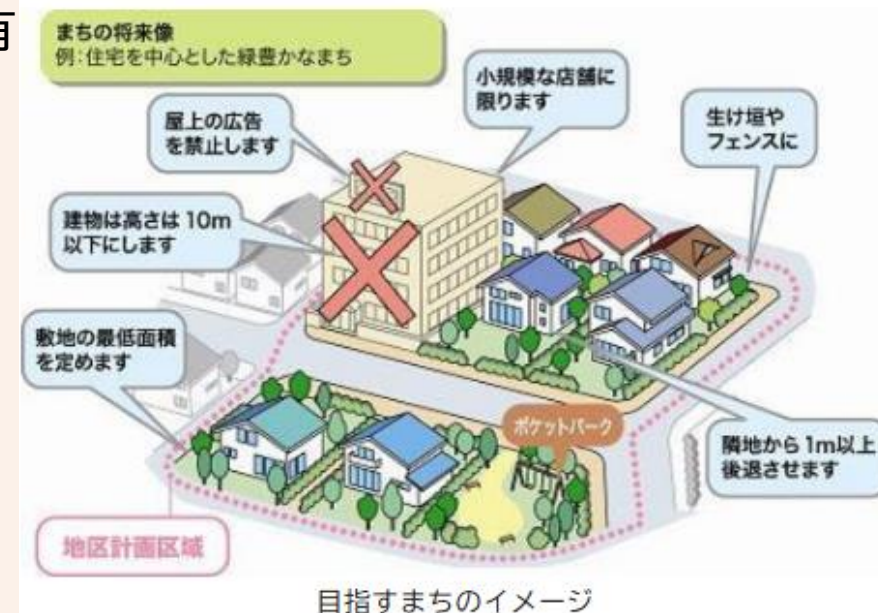
※開発が具体となるエリア

✓ 道路・公園、広場の位置の規定

⇒ 例)開発によって必要な公共空間が生まれる

✓ 建築物などのルールを規定

⇒ 建物の用途や高さを決めることで、地区の特性に応じたまちづくりを誘導

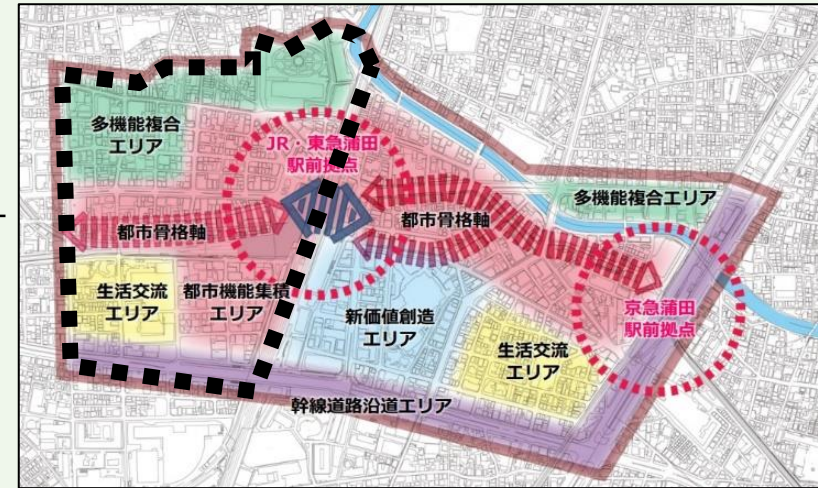


地区計画のイメージ
(出典：横浜市都市整備局HP)

3 蒲田駅西口周辺における地区計画の進め方

【今後の進め方について】

- ① 令和4年度改定の「蒲田駅周辺地区グランドデザイン」における、「まちの将来像・エリア別まちづくりの方針」をベースに、地区計画(目標・方針・範囲)の策定
- ② エリアごとの検討の熟度に応じて「地区整備計画」を策定



「蒲田駅周辺地区グランドデザイン(令和4年4月)P.24」

【検討体制について】

蒲田都市づくり推進会議の下部組織として新たな検討部会を設置

蒲田都市づくり推進会議

(仮称)蒲田駅西口周辺まちづくり検討部会

- ✓ 構成案
- ◎座長:大沢教授(日本大学)
- 副座長:大森准教授(東京科学大学)
- [構成員]
- ・大田区自治会連合会長
- ・エリア内町会長、商店会長
- ・地元組織
- ・学校法人
- ・大田区(事務局)